

## シラバス

科目番号・科目名

### (1) 職務の理解

指導目標

研修に先立ち、これからの介護が目指すべきその人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。

項目番号・項目名

時間数 6 時間

- ① 多様なサービスと理解 3 時間
  - ・介護保険による居宅サービス
  - ・介護保険による施設サービス
  - ・介護保険外のサービス
- ② 介護職の仕事内容や働く現場の理解 3 時間
  - ・介護サービスを提供する現場の実際
  - ・介護サービスの提供に至るまでの流れ
  - ・介護課程とチームアプローチ

(合計時間数) 6 時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版)

### (2) 介護における尊厳の保持・自立支援

指導目標

介護職が、利用者の暮らしを支える専門職であることを自覚し、その尊厳について理解し、自立支援・介護予防等の福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点および、ふさわしくない言動の例を理解している。

項目番号・項目名

時間数 9 時間

- ① 人権と尊厳を支える介護 3 時間
  - ・人権と尊厳の保持
  - ・ICF について
  - ・QOL について
  - ・ノーマライゼーションについて

・虐待防止・身体拘束禁止について（DVD も使用する）

② 自立に向けた 6 時間

・介護保険における自立支援の考え方について

・生活における介護予防の視点について

（合計時間数） 9 時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版）

(3) 介護の基本

指導目標

介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要な物を理解する。

また、利用者の個別性を理解し、その人の生活を支えると言う視点から支援を捉える事が出来る。

項目番号・項目名

時間数 6 時間

① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 2 時間

・介護環境の特徴

・介護の専門性

・介護職にかかわる職種

② 介護職の職業倫理 1 時間

・専門職の倫理の意義

・介護福祉士の倫理

③ 介護職における安全の確保とリスクマネジメント 2 時間

・介護における安全の確保

・事故予防、安全対策について

・感染症対策

④ 介護職の安全 1 時間

・介護職の心身の健康管理

・感染予防

（合計時間数） 6 時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版）

科目番号・科目名

(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携

指導目標

介護保険や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービスの流れや各専門職の役割・責務について一定の知識と理解が出来る。

項目番号・項目名

時間数 9時間

① 介護保険制度 3時間

- ・介護保険制度創設の背景と目的、動向
- ・介護保険制度の仕組みの基礎的理解
- ・介護保険制度の財源、組織・団体の機能と役割

② 医療との連携とリハビリテーション 3時間

- ・医行為と介護
- ・訪問看護
- ・施設における看護と介護の役割・連携
- ・リハビリテーション

③ 障害者自立支援制度およびその他の制度 3時間

- ・障害者福祉制度の概念
- ・障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解
- ・個人の人権を守る制度の概要

(合計時間数) 9時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版)

科目番号・科目名

(5) 介護におけるコミュニケーション技術

指導目標

高齢者や障害者のコミュニケーション能力の個々の違いを理解して、コミュニケーションを図ることが専門職に求められることを認識し、初任者として最低限必要な行動を理解できること。

項目番号・項目名

時間数 6時間

① 介護におけるコミュニケーション 3時間

- ・コミュニケーションの意義・目的・役割
- ・コミュニケーションの技法
- ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際

・利用者の状況、実態に応じたコミュニケーション技術の実際

② 介護におけるチームのコミュニケーション 3時間

- ・記録による情報の共有化
- ・報告・連絡・相談
- ・コミュニケーションを促す環境

(合計時間数) 6時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版)

科目番号・科目名

(6) 老化の理解

指導目標

老化が影響を及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。

また、老化と共に、社会的環境が心理や行動に与える影響や身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。

項目番号・項目名

時間数 6時間

① 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 3時間

- ・老化と老年期
- ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴
- ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響

② 高齢者と健康 3時間

- ・高齢者の症状・疾患の特徴
- ・高齢者の疾病と日常生活上の留意点
- ・高齢者に多い病気と日常生活上の留意点

(合計時間数) 6時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版)

科目番号・科目名

(7) 認知症の理解

指導目標

介護において認知症を理解することの必要性を認識し、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。

項目番号・項目名

時間数 6時間

- ① 認知症を取り巻く状況 1 時間
    - ・ 認知症ケアの理念
    - ・ 認知症ケアの視点
  - ② 学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 2 時間
    - ・ 認知症の概念
    - ・ 認知症の原因疾患とその病態
    - ・ 原因疾患別ケアのポイント
    - ・ 健康管理
  - ③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 1 時間
    - ・ 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴
    - ・ 認知症の人への対応
  - ④ 家族への支援 2 時間
    - ・ 家族へのレスパイトケア
    - ・ 家族へのエンパワメント
- (合計時間数) 6 時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版）

科目番号・科目名

(8) 障害の理解

指導目標

障害の概念と ICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解できる。

項目番号・項目名

時間数 3 時間

- ① 障害の基礎的理解 1 時間
  - ・ 障害の概念と ICF
  - ・ 障害者福祉の基本理念
- ② 障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識 1 時間
  - ・ 身体障害
  - ・ 知的障害
  - ・ 精神障害
  - ・ 発達障害
  - ・ 難病

③ 家族の心理、かかわり支援の理解 1 時間

- ・家族の理解と障害の受容支援
- ・介護負担の軽減

(合計時間数) 3 時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版) 初任者研修テキスト(中央法規出版)

科目番号・科目名

(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 I 介護に関する基礎的理解

指導目標

介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、理論と法的根拠に基づく基礎的な介護技術が実践できる。

尊厳を保持し、その人らしい暮らしをその人の在宅・地域等で継続出来る様に支援できる介護技術や知識を習得する。

項目番号・項目名

① 介護の基本的な考え方 4 時間

- ・理論に基づく介護
- ・法的根拠に基づく介護

② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 4 時間

- ・学習と記憶に関する基礎知識
- ・感情と意欲に関する基礎知識
- ・自己概念と生きがい
- ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因

③ 介護に関するからだのしくみの基礎知識 4 時間

- ・生命の維持・恒常のしくみ
- ・人体の各部の名称と働きに関する基礎知識
- ・骨・関節・筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用
- ・中枢神経と体性神経に関する基礎知識
- ・自律神経と内部器官に関する基礎知識

(合計時間数) 12 時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版)

科目番号・科目名

(9) ところとからだのしくみと生活支援技術 II 自立に向けた介護の展開

指導目標

介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、理論と法的根拠に基づく基礎的な介護技術が実践できる。

尊厳を保持し、その人らしい暮らしをその人の在宅・地域等で継続出来る様に支援できる介護技術や知識を習得する。

項目番号・項目名

④ 生活と家事 6時間

- ・生活と家事の理解
- ・家事援助に関する基礎的知識と生活支援

⑤ 快適な居住環境整備と介護 6時間

- ・快適な居住環境に関する基礎知識
- ・高齢者・障害者特有の住環境整備と福祉用具の活用

⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 6時間

- ・整容に関する基礎知識
- ・整容の支援技術

⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 6時間

- ・移動・移乗に関する基礎知識
- ・移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法
- ・利用者・介助者にとっての負担の少ない移動・移乗の支援方法
- ・移動、移乗を阻害する要因の理解とその支援方法
- ・移動と社会参加の留意点と支援

⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 6時間

- ・食事に関する基礎知識
- ・食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法
- ・楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法
- ・食事と社会参加の留意点と支援

⑨ 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 6時間

- ・入浴・清潔保持に関連する基礎知識
- ・入浴・清潔保持に関連する用具の活用方法
- ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法

⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 6時間

- ・排泄に関する基礎知識
- ・排泄環境の整備と関連する用具の活用方法
- ・爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法

⑪ 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護 6 時間

- ・睡眠に関する基礎知識
- ・睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法
- ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法

⑫ 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護 3 時間

- ・終末期に関する基礎知識
- ・生から死への過程
- ・「死」に向き合うところの理解
- ・苦痛の少ない死の支援

(合計時間数) 57 時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版)

(9) ところとからだのしくみと生活支援技術 III 生活支援技術演習

⑬ 介護課程の基礎的理解 6 時間

- ・介護課程の目的・意義・展開
- ・介護課程とチームアプローチ

⑭ 総合生活支援技術演習 6 時間

- ・演習を行うにあたって
- ・「食べたくない」と訴える施設入所者の援助
- ・できるだけ外に出かけたいと思っている利用者の援助
- ・トイレでの排泄にこだわりをもつ利用者の援助

(合計時間数) 12 時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版)

車いす・介護ベッド・ポータブルトイレ・簡易浴槽・介護用品一式

科目番号・科目名

(10) 振り返り

指導目標

研修全体を振り返り、学んだことについて再確認を行い、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。

項目番号・項目名

① 振り返り 4 時間

- ・介護職に求められるもの
- ・就業への備えと研修終了後における継続的な研修



(合計時間数) 4 時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版)

【見学施設】

下記の施設で実技を見学する

にしいさはやヘルパーステーション

通所介護 みらい

社会福祉法人 清和福祉会 訪問介護事業所

共同生活援助 クローバー館

(合計時間数) 4 時間

使用する機器・備品等

介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版)

※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数を記入すること。

※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。

※ 時間配分の下限は、30分単位とする。時間配分の下限は、30分単位とする。

※ 項目ごとに時間数を設定すること。

※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。